

# 山のたより

久しぶりの

平成 12 年正月号

Vol.24

編集／発行

〒 652 神戸市兵庫区氷室町 1-5-11 行守寺 きょうしん tel (078)511-9691 fax (078)515-2770

「お上人さん、いつになったら出ますねん」

皆さんの待ち望む声にフアイトが湧き

「ヘッヘッヘッ、行守寺さん、まだお休みですか」

定期的に届く本泉寺さんの『もといずみ』に対抗心が燃え

「あなたッ！もういいかげん出さなあかんよ」

行子さんの叱咤激励にふるえあがり

それに、タマも出番を待っているし……

重い腰を上げました



# 奮戦記 新米所長 ハラハラドキドキ



## 横川定光院は 日蓮聖人が十二年間勉強された霊跡

比叡山の横川にある、日蓮聖人が十二年間勉強をされた霊跡。比叡山にあるだけに、延暦寺のもので。しかし数年前、延暦寺と日蓮宗の間で、「横川定光院は日蓮聖人の霊跡ですから、今後日蓮宗に管理運営をお任せます」と言う協約が結ばれたわけです。

横川定光院は、比叡山の文字通り山の中にあります。横川の駐車場から、山道を少し歩いて行かなければなりません。昼なお陽も差さない山間にひっそりと佇んでいます。比叡山の延暦寺は有名な寺院ですから、全国から参拝・観光の人々がドッと押し寄せますが、横川定光院まで足を伸ばす人は、まず皆無でしょう。存在すら知られていないでしょう。たまに、日蓮宗の熱心な信者さんや山歩き好きな人が、登山ルックで訪れるくらいでしょうか。人間より猿の方が多くようです。

こうして、横川定光院が日蓮宗のもとに管理運営されるようになってから、実質、地元である日蓮宗近畿教区がその役を担っているわけです。日蓮宗近畿教区に十二の宗務所がありますので、毎年輪番で法要を実施することになっていますが、にわかに活気づいてきました。

## 実況中継

就任十日目の初舞台

## 横川定光院 の 春季法要

実況アナウンサー・古館伊智郎  
解説・長嶋茂雄僧正

平成十一年の春季法要は兵庫県東部宗務所の当番として以前から決まっていたのだが、ちょうどその年が宗務所長改選期に当たっていた。

互選なので立候補したわけではないのだが、私が宗務所長に決まってしまったので、さあ大変。宗務所長ということは、私が法要の導師を勤めるいうことか、えらいこつちゃ。

心の準備もできないまま当日を迎えた。日蓮宗と比叡山の要路・高僧が居並ぶ中、はたして新米所長の顛末や如何に。

古館 全国一億二千万の日蓮宗のファンの、おつといきなりフライングです。不適當な語句を使っちゃいました。ファンでは競馬中継みたいになってしまっていますが、この場合何と言ったらいいんでしょうかねえ、長嶋さん。

長嶋 うーむ、やはり信者、の方がベターじゃないでしょうか。うーむ。

古館 失礼しました。全国一億二千万の日蓮宗の信者の皆様、こんにちは。今日は、横川定光院春季法要の様子をわたくし古館が、解説にあの伝説のV9覇者、つまり大荒行九回成満の偉業を成し遂げられました、歩く英訳辞典長嶋茂雄僧正をお迎えして実況放送をお送り致します。本来ならば、日蓮宗大荒行九行成満長嶋茂雄阿闍梨とお呼びしないといけないんですが、省略した呼び方ないでしょうか、阿闍梨さんとか。

長嶋 阿闍梨さん？阿闍梨さんというネーミングですかあ？聴いている人は、アーチャリーと聞こえますねえ。アーチャリーとイメージされるのはノーですねえ。チョーさん、これがいいね、うむ。

古館 それでは早速ですがチョーさん、私の事前の調査によりますと、この法要の導師は大塚泰詮上人だと聞いていたんですが、今日のサテイ（差定）を拝見しますと、清水教信師となっていますねえ。これはどういうことでしょうか。

長嶋 まず、サテイではなくサジョー（差定）と読みます。プログラムのことですが。つまりですねえ、こういうことです。準備している頃は宗務所長がまだ大塚師だったんですが、その後宗務所長選挙があつて、結果清水師が当選、わずか十日前に就任。したがって、導師を宗務所長の清水師が勤める、とこういうことです。つまり、トップがチェンジした訳よね。チェンジ…ね。

古館 そうですか、全国的に名の通った、知る人ぞ知る、押しも押されもせぬ近畿の重戦車大塚師が勇退され、俗的な表現をすれば、無名の新人が出てきた、と言うことなのでしょう。と言うことは、大穴、おつと、また失言。失礼しました。青天の霹靂、寝耳にかき氷、



ガングロのキャピキャピ子ギャルが「エーッ、ウツソーツ」と大合唱するようなことのようです。チョーさんに事情を伺っているうちに、リングアナウンサーいや、司会のお上人が法要開始を告げ、いよいよ入堂です。スモーク、火花、雷鳴、レーザー光線、大歓声といったものは一切なく、厳かな中に肅々と入堂が始まっています。新人という先入観からでしょうか、行列中央を歩くJSS社長お経を読むプログラマー清水師には心なしな緊張の色が感じられます。本堂の中に僧侶の方が大勢座っておられますが、どのような方ですか、チョーさん。

まず日蓮宗の前総長さまでですねえ。地元近畿の方ですから、ええ。それに京都のご本山の貫首さま方。宗会議員の方々。近畿教区内の所長さま方。日蓮宗宗務院から担当課長さま。比叡山延暦寺からそのー、つまりハイクラスのお坊さん、ということですね。ええ。清水君も就任していきなりの大舞台、しかもこれだけいわゆるトップクラスのお坊さんがですねえ、見守る中で勤めるということはですねえ、かなりの緊張でしょうね。ええ。

古館 そうでしょうねえ。ただ今大勢のご僧侶が唱える読経の音が、堂内からあふれ、全山に響き渡っています。最初の清水師の発声には少し上ずった感じがありました。臨界を超えた東海村の如く、暴走アドレナリンが清水師の体内を駆け回っているのでしょうか。また心臓の鼓動も、誰にも止められない暴走機関車のピストンのように激しく打って打って打ちまくっているのでしょうか。いや、すぐ落ちて着いてきたようですね、チョーさん。

長嶋 そうですよ。古館チャン、興奮してるのはあなたの方じゃないの。そのー、マシンガントークと言うの、誰にも止められないのは、古館チャンですよ。清水君もね、素人じゃないんだからすぐ馴れますよ。

古館 えー私、第一回目のイエローカードが与えられました。がぁー、誰にも止められないマシンガントークアナ古館はチョーさんのキビシイご指摘を厳粛



にかつ真摯に受け止めました上で、また走り出します。読経が終わると同時にマイペース清水は、しずしずとご本尊さまの前に進み出ました。どうやら表白文を拝読するようです。おーっ、泰然自若、威風堂々、……ええいッ馬耳東風、青椒肉絲、麻婆豆腐、四輪駆動、酒池肉林、幼児虐待、焼肉定食、携帯電話、小渕恵三、四文字熟語の大売り出し。中身は玉石混淆なんのこっちゃわからんようになってまいりましたが、今までと打って変わった清水師。朗々と読み上げるその姿には、風格さえ感じられます。法要の一連の流れも今が佳境といったところでしょうか、列座の宗門要路、叡山要路、本山貫首、来賓高德により厳かにご焼香が行われ、続いて、一般参列のご焼香も始まったようです。猿や鹿の鳴き声で

しょうか時折聞こえてまいります。この山に棲息する猿や鹿、キリンやライオン、パンダやピラニア、アメーバーやミトコンドリア、一木一草からO157の病原菌まで生きとし生けるものすべてが法華経の功德により歓喜しているものと思われます。こうして様子を皆様にお伝えしているうちに、いよいよ終盤にさしかかって参りました。主催者であると同時に導師勤めました清水師が挨拶をするようです。どうでしょうか、チョーさん。清水師という人物は、いわば突然地から湧き出てきた、全く無名の未知数人間、ボールに包まれた北朝鮮のスカッドミサイル、中身がわからないデパートの福袋といったところですが、挨拶は上手にするんでしょうか。

長嶋 彼は下手です。

古館 おーっと、一刀両断。いきなりスーパーウルトラストレートパンチ、必殺脳天逆落とし、小笠原流四之字固、出ましたねえ。

長嶋 いえ、彼はねえ、自分ではつきり言ってます。「私は、人前でしゃべることがいちばん苦手です。いちばん下手な私が、いちばん挨拶の多い立場になって、困惑しています」お坊さんと言っても、話の上手下手はあります。だけどねえ、これもすぐ馴れます。ええ。大事なのはスピリット、わかる？スピリット、ええ。

古館 ただいま法要を無事に勤め終えた導師清水師が、大勢の参列者の前に立ち、挨拶をしております。決して立て板に水、弁舌さわやかとは言えませんが、それなりの挨拶ができて、ホッと胸を撫で下ろしている様子がうかがえます。続いて、奥邨日蓮宗前宗務総長がご挨拶を述べられています。この後インタビューのため控え室に移動します。（この間CM）

古館 ただいま無事法要を終えられ、控え室にお帰りになりました清水所長にインタビューを行います。清水所長、まず初めにご感想をうかがいます。

清水 オス！  
長嶋僧正も清水所長の初舞台を心配されていましたが、なんとかうまくいったようですね。

清水 オス！

古館 最後に、今後のご活躍をご期待申し上げます。

清水 ゴッツアンです！

古館 大変気持ちよくお応え戴きました。この辺で放送を終了させていただきます。みなさま、ごきげんよう。



## 住職、生まれて初めて 歯医者さんへ行く

総代で歯科医の中村博司さん



お寺の先代の老僧が従軍僧として中国に行ってはった頃、まだ小学生でねえ、剣道を習ってたんですよ。大正十年前後先代が開業したんですが、空襲で焼けましてねえ、半年ほど家族全員が行守寺さんで仮住まいさせてもらいましたよ。よく覚えています。



合掌 定光院春季法要の砌は爽やかな天候に恵まれ、所長としての第一声、誠に印象深いものがございました。所長会議おつかれ様でした。これから何かとご多忙の事と拝察いたしますが、御法体呉々もご自愛の上、為宗御活躍を御期待申し上げます。

再拝

後日、宗務院の富川課長様から、上の写真とハガキが届けられました。新米の清水所長が果たしてチャンとやれるか、テストされている心境。まさか、危なっかしい法要で、ハラハラしました、と書く訳にはいかないものだから、誠に印象深いと。冗談はともかく、就任第一歩のはなむけとして、このハガキを大切にしています。ありがとうございます。

筆者はお寺さんで使うパソコン用のデータベースシステムを開発しているが、ホームページに載せていると、宗派を問わず、全国の寺院から問い合わせがあったり、時には販売につながったりしている。

一日中プログラミングしている訳ではなく、本業の合間に暇をみつけてチョコチョコとやっていたので、一年ほどかかったかな。その後も暇をみつけては改善を重ねている。その他、宗務所の仕事、お寺の仕事など、ほとんどパソコンを利用しているので、肩が凝るやら、歯が浮くやら。

ものごころ付いてから、歯医者さんに行った記憶がない。が、齢も五十目前になると、歯磨きの手を止め、ジッと歯ぐきを見つめるようになる。歯の露出部分が多くなってきたと言うか、歯ぐきがやせてきたのが気になってきた。

そうこうしているうちに、モノを噛むと歯が痛くなつて食べられなくなった。そのうち治まるだろうと何日か我慢していたが、治まりそうにもない。どうも歯そのものではなさそうだ、歯ぐきかな？どっちにしろ歯が痛いのだ。いよいよ年貢の納め時が来たかとはかりに、生まれて初めての歯医者さん。

「お上人さん、歯医者さん行ったらな、尖ったヤスリでな、ギリギリやられまっせ、イッヒッヒッヒ」

我慢している私をみて、彼岸の手伝いに来ている檀家の人達が、寄ってたかって私をいたぶる。「あれは、たまらんな、涙でるわ」と、清水チマさんが追い打ちをかける。

四面楚歌の私は乞うような目で横山光子さんを見ると、「お上人さん大丈夫、痛くしないように私から先生に言っておきますから」歯科衛生士の横山さんが言うのだから重みがある。





やさしい横山さん

中村博司さんは歯科医院の先生で、お寺の総代さん。

まな板の上に両手両足を縛られて、口を開けていると、「お上人さん、虫歯一本も無いですよ。歯が浮いてますな」と、院長先生が太鼓判を押し

とか、地域では赤丸人気急上昇。もつぱらのうわさ。

また、横山さんもお母さんの代から熱心な信者さんで、行事の時はいつもお手伝いしてもらってます。横山さんと言えば山登り、山登りといえば横山さん。日本中の山と言う山は登り尽くしたのではないだろうか。お参りに何うと、ゴージャス三姉妹のお出迎えに、住職ご満悦。



## 住職おすすめ！

仏事のご相談、仏壇・仏具のご相談、その他  
なんでも親身になって相談に乗ってくれます。

絶対信頼のおける

《一心》 代表・武士正滋  
tel.078-794-3896

てくれた。それでも恐怖心が消えない私に、「お上人さん、怖くないのよ。いい子だからね」と、横山さんがやさしい。そのうち、口にガーズを入れられてからシビレてきて、なんだかわからないままに終わってしまった。しかし、ヨダレがいかにもだらしない。

先代のお父さんは、お寺の草創期から大変な尽力があり、永年総代を務められた方で、六十台後半の中村さんは、二代目院長。

平成六年に心筋梗塞を患い、現在は完治してお元気に歯科診療を続けているが、三代目の息子さんが歯科医師としてお手伝いをして

いる。  
ここだけの話、「息子さんの方がやさしい」と、若先生の診療日をねらっている人が多い



## スケッチ

みなさん、『山のたより23号』覚えていますか。あの中で、神戸市水道奉行のお代官様に、こつぴどく叱られた事を書きましたね。

「ここは、草一本抜くことも枝一本折ることも許されない所であるのに、住職さんは何んちゅうことをしてくれたんや。百叩きか、市中引き回しか、遠島か、はたまた獄門磔の刑か、追って沙汰する」と、言った舌の根も乾かないうちに、大規模な工事を始めてるんですよ。

お寺の下の広場に、でっかいガントリークレーンが走ってるんですよ。想像つきますか。ほれ、あの、港で船にコンテナを積み下ろしする、あの門の形をしたクレーンですよ。

説明によれば、北区の方かな、とにかくあつちの方から下水道管が敷設してあるらしいけど、これが古くなったことと、震災で壊れたことで、やり直す工事……らしい。

よくわからんけど、お寺の下に広場がありますよね、あそこのでっかい穴掘ってます。縦に三十メートル掘るらしいです。こんどそこから横にトンネルを掘る、という説明。つまり、下水道用のトンネルです。

いくら錦の御旗のもとに公共工事をする言うても、「草木一本抜いたらイカン」言うたんチャウんかい。そんなら迂回ルートで工事せんかい！人を罪人扱いしたくせに！！あんたら何百倍の荒っぽい工事しとるやないかい。

と、言うようなことですが、お国のため、市民のため、他人様のためになることなら、という気持ちで協力しています。

お寺の敷地を通らないことには工事ができないので、何とかご協力をと、市の担当者と工事担当の（株）フジタの人達がやってきましたので、それはそれはご苦勞様です、どうぞお使い下さい、と。その上に、工事には大量の水を必要とするらしいです。水源地の端で工事するんやから、



水の心配は全くないと誰でも思いますよね、ね、ね。ところがドッコイ、水源地の水を使こうたらアカン、と言うことらしいですよ。これもあの水道局ですよ。同じ市役所内の部局でありながら、建設局がやってる工事に水道局が協力しないんですよ。というより、イヤガラセみたいですね。不思議な構図ですね、おもしろいですね。

いやいや、おもしろがってる場合じゃないんですした。このケンカの影響をモロにかぶったのが、他でもない、お寺（清水家）ですよ。

誠に申し訳ありませんが、水ももらえないでしょうか、と（株）フジタの人達が大笑してやってくるから、ハイハイとコップに水を入れて差し上げたら、イヤもう少し……。炎天下で土木工事している皆さん喉が乾いてたまらないのだろうと、こんど皆さんの分をヤカンに入れて差し上げたら、スミマセンもつと……。

うーむ、敵はそうとう手強いな。ヤカンでだめなら、ポリタンク？はたまたドラム缶？うちのドラム缶は天水受けに使っていて、汚いしなあ、などと思いつめぐらす。敵の出方を読めないようじゃ、住職の資格がないな、と苦悩していると、実は住職さん、カクカクシカジカで……。はあ、そんなことだと思っていました、ははは。うちの日常生活に支障がなければ、どうぞ。

カクカクシカジカが大変なんです。進入路の整備、本工事区域の造成など、本工事をするための準備段階の頃は、ガレージの蛇口から給水していたが、それでも大変な水量だった。水道のモーターがフル回転し続けて、ブツ壊れたもんね。すぐ取り替えてくれたけど。

本工事始めたら、こんどはうちの受水槽の何倍もあるタンクを持ってきて、水を振り始めた。

えらいこっちゃ、芳崎さん。うちのタンクがスッカスカや。電話し

ユッコの仕事場に入った私がデジカメを持っていることに気付いたとたんに、怒られた。

「ダメッ！撮らんといて。こんなカッコしてるときに撮ったらダメ。化粧もしてないし、出てって！」

「よそ行きの服着て仕事しとる奴おらへんやろ、おーじよしまつせ。普段、化粧なんかしてへんやないか」

「ダメ言うたらダメなの！」

「ハイッ！」

と言うわけで、撮影許可が下りませんでした。掲載のおすまし写真はヤラセです。

家庭用のミシンでは歯が立たず、工業用のミシンを買ってね、本格的ですよ。

「できた、ホレ見て。見て、見て」

満足感を満面に浮かべて見せに来る。その素材やデザインが、いいのか流行なのかは私にはわからないが、丁寧な仕上げで上手に出来ている。そごうにも大丸にも、決して負けない。

この夏から始めて、もう五十個くらいのオリジナル作品。

またスゴイのが、オバチャン達のネットワーク。口コミで「清水さん、私にもこんな作って」「この生地で作って」「ともだちにプレゼントしたいから」「私を見せたら、その人も作って欲しいって」「もう一個作っ

## オリジナルバッグの Yukko Collection



[http://www06.u-page.so-net.ne.jp/da2/s-yukko/public\\_html](http://www06.u-page.so-net.ne.jp/da2/s-yukko/public_html)

たら、工事事務所から芳崎さんがスッ飛んできてバルブを閉めた。その次は、夜中に水の音がするのでとび起きて、外にでてみると大量の水があふれ続けている。モーターのリレースイッチが故障したらしい。

工事事務所の所長さんも、その度に頭を下げに来るので、かえって恐縮です。所長さん以下、工事関係者の方々の名譽のために付け加えておきますが、お寺も親切にしてもらってますし、皆さんいい人達ばかりです。

工事が、約二年ほどかかるらしく、その間駐車場がないので、水源地奥の工事事務所駐車場を使わせてもらってます。お寺で宗務所の会合を毎月やっていて、帰りが夜遅くなるために懐中電灯持参で出席してもらってますが、それでもお寺から駐車場までの道中、怖いと思いますよ。いやいや、もつと怖いのは、草木も眠る丑三つ時、山の中の真つ暗な道を、六七人の坊んさんがヒタヒタと歩いているシーンを想像してごらなさい……。ゾーッ。背筋が凍りますねえ。こわいですねえ。もつと欲を言えば、ほの明るい提灯を一個だけ持つてもらいます、そしてたまにヌエが鳴きます、これで完璧ですねえ。それではさいなら、さいなら。

## 《ヨコタの》《バニクンバー》

少しあります

ご希望の方はご連絡ください

て」

筆者も片棒担ぐハメになりました。パソコンでカタログ作るやら、ホームページ作るやら、下請けしてます。

人間、生き生きしている姿はいいもんです。けどね、寸暇を惜しんでやってるもんだから、晩酌をヤル日もだんだん削られてきたんですよ。「今夜は、チャーハンだけ！ご馳走作ったら、あなたは毎晩飲むんだから、

健康のためこの方がいいでしょう、ね、

ね」

今夜はお酒休みか……。寂しい夜になりそうだ、ガクッ！

あ、まだ言うてなかった？ バッグ作ってまんねん、クソッ。

# 編集室

23号でストップしたまま、何年ズボラしたかな。毎年、今年こそ、今年こそと机の前に座ってみるんですがねえ。ダメでした。有り難いことに、皆さんが待つてくれていたことが支えになりました。と言いながら、またサボったりして……。

今回も、十二月に入り、「今年こそ……」と机の前に座ってはみるが、いろんな予定が気になって始められない。だんだん日が過ぎるばかりだが、気になってしかたがない。

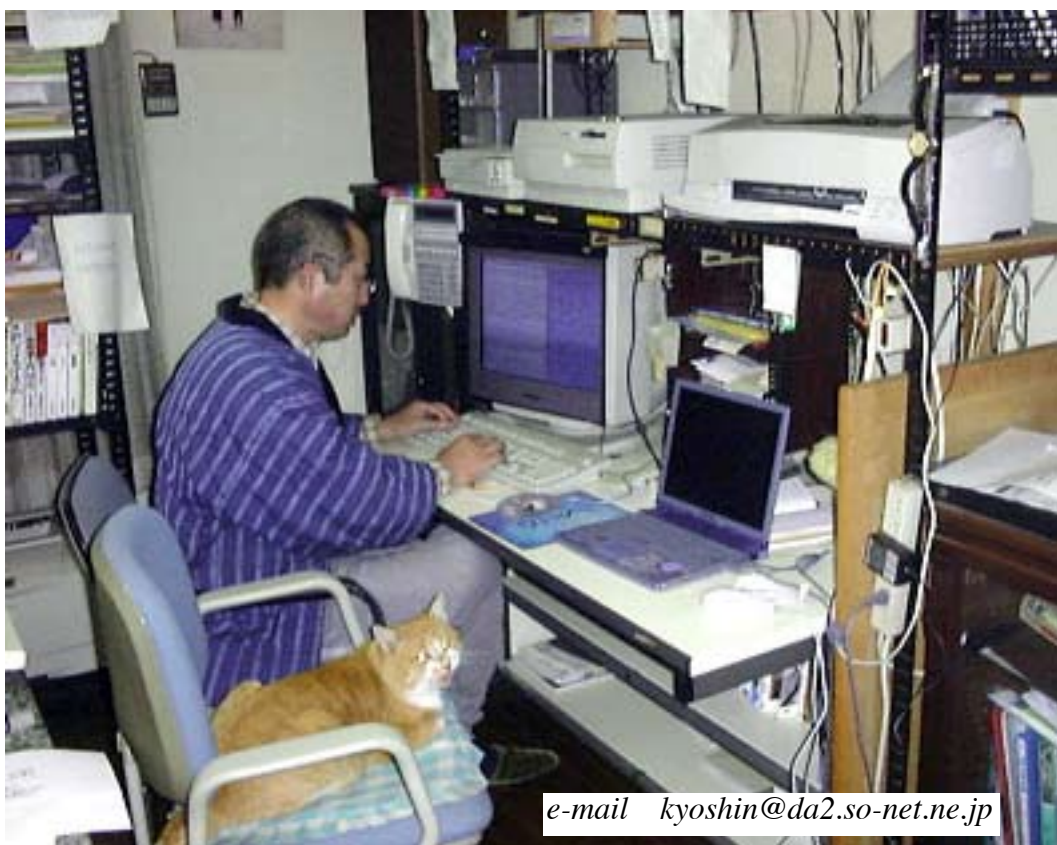
「あなた、もういいかげんに書かなあかんよ、皆さん待つてはるのに。何年サボつてるんですか」

ヨシッ、やるぞ！書き始めた。印刷屋さんを確認の電話「年内に納品してもらうためには、原稿いつまでに出したらいい？」

「十八日」

もう時間がない、いけーっ！進めーっ！

お参りから帰宅すると、大好きなドテラ（襦袢、こんな字ですって、なんとなくわかりますよね）を着てパソコンの前に行くと、イスはい



e-mail [kyoshin@da2.so-net.ne.jp](mailto:kyoshin@da2.so-net.ne.jp)

つもタマに占拠されている。気持ちよさそうに寝ているから、しかたなく冷たいパイプイスを持つてきて使う。

きやよかった。

こうして編集後記を書くようになったら、しめたもんだ。後は推敲して、レイアウト、割付して写真を取り込んで、プリントアウトして印刷に回すだけ、と。

実はね、今回どうしても掲載したかった原稿があったんですが、書き上げた後、内容について確認の電話をしたら

「お上人さん、載せないでください。私は一人静かに生きるのが信条ですから、たのむ」

生きる達人、このご隠居さんの風流ですばらしい生き方を、ぜひとも皆さんに紹介したくて……。すばらしい原稿が私の手元にあるんですがねえ、頼んでも許してくれない。電話しな